

令和8年度 音楽科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈2年〉 - リズムに合わせて歌ったりリズム運動をしたりして、体全体で音楽を楽しむことはできるが、友達のリズムを感じて合わせて動くことが苦手な児童がいる。 〈3年〉 - リコーダーの運指は少しずつ身に付いてきた。音色やタンギングに気を付けることが課題である。	○ うたに合わせてリズムであそぼう ○ リコーダーのえんそうのしかたをおぼえよう	グループでの活動の工夫 - 同じリズムの人だけで演奏したり違うリズムの人と組み合わせたりして、いろいろなリズムを組み合わせで他の音を聴きながら演奏する活動を行う。 いろいろな演奏方法 「いつも何度でも」「小鳥のために」などいろいろなリコーダーの音色に浸らせ、やさしい息の使い方や舌をティやトの発音に気を付けてタンギングすることを助言する。	
思考力・判断力・表現力	〈6年〉 フレーズや曲の強弱、音の重なり、それらの働きが生み出すよさや面白さを分析することはできるが、それを演奏につなげることに課題がある。	○ 曲想の変化を感じ取って、歌ったり演奏したりしよう	表現の工夫 - 強弱について手拍子で確認したり手や体を動かして表現をしたりして、体全体で体感させる。 学習環境の工夫 - 曲の特徴を個々で分析した後、グループで意見を出し合い、いろいろな考えを共有したりそれを演奏して確かめたりする活動を行う。	
学びに向かう力・人間性等	〈4年〉 - 歌詞や旋律の特徴を考える場面では、個人的な活動は集中して行うが、グループでまとめる学習では違う意見を認めることができず活動がうまくいかない場面がある。 〈5年〉 - 旋律の流れを考えながらきれいな音色で歌うことができるが、旋律と歌詞との関係から曲想を考えて歌唱することが難しい児童がいる。	○ 季節の歌を歌おう ○ 旋律の動きと歌詞の意味を関わらせながら歌唱しよう	学習形態の工夫 - グループ学習では、個々の考えを発表しあう場面、他のグループの様子を見合う場面、グループの意見をまとめる場面に分ける。そして全体発表では発表するグループと鑑賞して感想を発表するグループに分けるなど、何をするか明確にして、いろいろな学習形態で授業を進める。 表現の工夫 - 歌詞の特徴を全体で考えた後、旋律の特徴は個人で考え、それを意見交流したりグループで特徴をまとめたりして、またそれをもとにして自分が歌いたい表現を追究する活動を進める。	